



# まちづくりプラン 助成金交付事業

若者支援サークル  
BEE FREE

# ☆ Bee freeとは？

もくじ

- ・ 立ち上げの経緯
- ・ 目的
- ・ 今後の目標

# BEFORE とは・・・

地域における子ども・若者の抱える問題として、ニート、ひきこもり、不登校、発達障がいなどがあげられます。

社会とのつながりを失い孤立する子ども・若者の増加を防ぎ、円滑な社会生活と自立や、地域とのつながり構築を目指した活動を行うことを目的としています。また、取り組みを通して当事者間の交流や地域貢献も行っています。

きっかけは、引きこもり当事者の

「はちみつをつくってみたい」

から始まった

まちづくり×養蜂

＝ブンブンプロジェクト

→プロジェクトチーム立ち上げ

- ・メンバーの募集と構成

- ・ 知識 0
- ・ お金 0

→すべて「ゼロ」からはじめてみた

# 浦添市まちづくりプラン助成金 交付事業への応募

お金の面に関しては、市の助成金で「まちづくりプラン助成金」というものがあり、しっかり当事者と申請内容やタイムスケジュールを確認した上で助成金に応募。

## ・まちづくりプラン助成金交付事業って？

市民や企業からの寄付を活用して、市民主体の幅広いまちづくり事業を行う団体へ助成金を交付するもの。

**10万コースで採用決定！！**

# 構成メンバー

引きこもり等の当事者

ボランティアコーディネーター

地域貢献したい若者

それぞれ課題が...

CSW

自治会

生活困窮者自立支援  
担当職員

地域若者サポート  
ステーション事業者

# 目的

## 1.当事者の出口支援

→（就労のきっかけづくり、あるいは、はちみつ作りがそのまま仕事になれば）

## 2.地域の担い手不足の解消

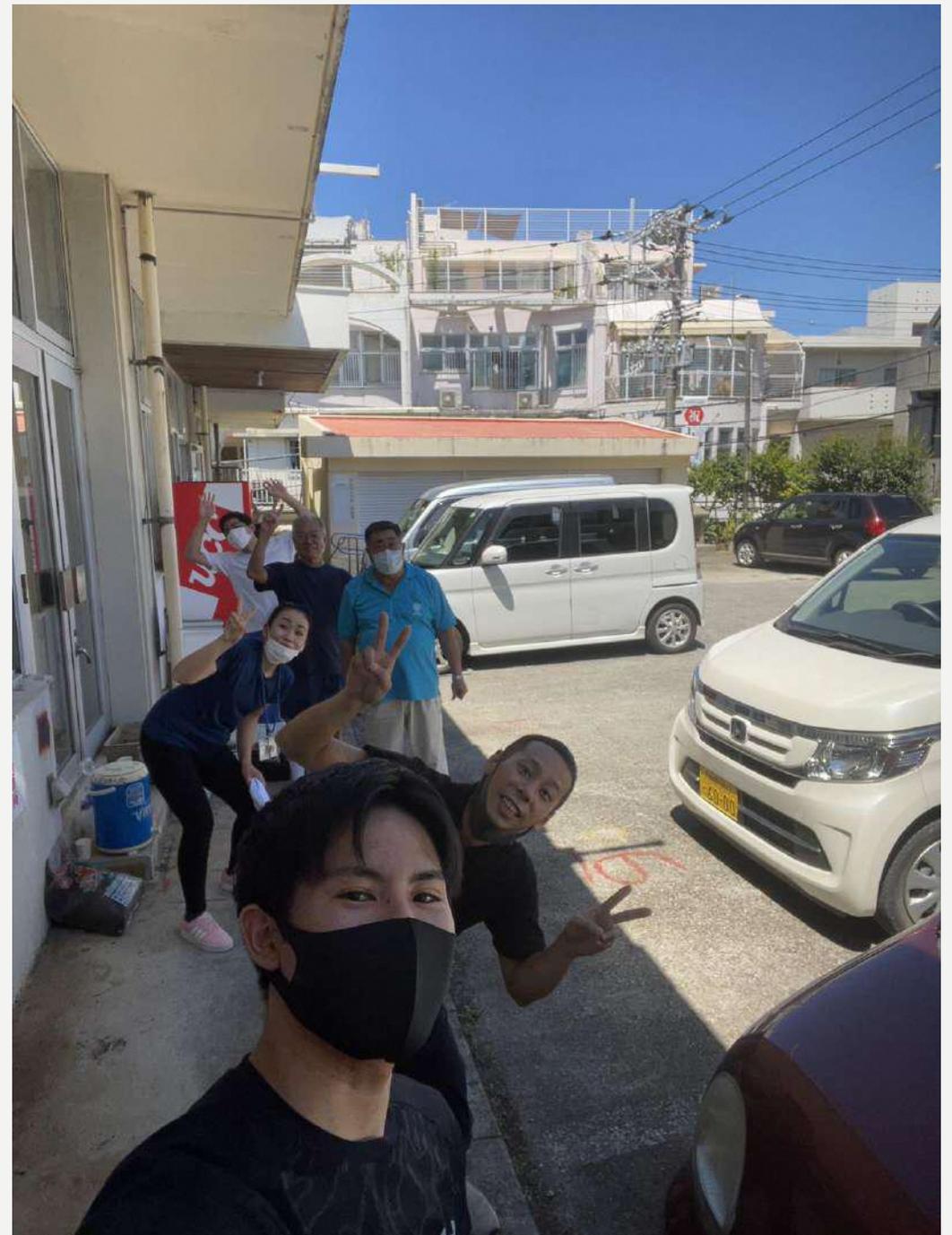
→（多様な人材が地域で活躍できる場づくり）

3.「ともに豊かに生きる」をテーマとした福祉教育の素材としての展開

# モットー

- ① 楽しく
- ② 気楽に
- ③ ゆっくりと

※あくまで当事者の  
ペースを配慮



# 作業の流れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ぶんぶんプロジェクト	巣箱設置依頼・申請			養蜂基礎講座 巣箱設置		養蜂開始・管理・採蜜・試食会						
ヒューマンライブラリープロジェクト	定例会にて交流 人材発掘			地域のつながり作りの 計画			準備	ピアサポート会 などの開催				
その他の 自主活動			地域清掃	養蜂講座	地域清掃 管理講習	養蜂講座 管理講習	地域清掃 管理講習	管理講習	地域清掃 管理講習	養蜂講座 管理講習	地域清掃	



勉強会の様子



新垣養蜂園の屋上

板1枚で  
約2000匹  
も!?





実際に作業している様子



# 巣箱ペンキ塗り



# 若者社会参加 養蜂で

## ニートや引きこもり 支援めざす

### 浦添のサークル準備に汗

【浦添】ニートや引きこもりを問題を抱える若者の社会参加を支援しようとサークル「Bee free」(ビーフリー、宮城仁太郎代表)が、勢理客公民館で養蜂に取り組んでいる。18日にはミツバチの「入居式」を行い本格的にスタートを切る予定だ。就労に不安を抱えていたり、地域貢献をしたいと考える若者らの集まり。モットーは「楽しく、気楽に、ゆるゆると」。それぞれのペースで汗を流す。(社会部・員志敬孝)



勉強会でガラス越しに巣箱の中をのぞきこむメンバーら＝7月31日、勢理客公民館

ビーフリーは会員12人で引継ぎこもり経験者の当事者のほか学生、市社会福祉協議会職員、自治会役員が所属。社員や企業が支援する。これまで養蜂業者を招いての勉強会を開き、公民館の敷地内にミツバチが蜜を採取する「蜜源」となる花を植えるなど準備を進めてきた。

地域住民を招きミツバチに餌をあげる。シシバに



ミツバチの蜜源となる花を植えた宮城仁太郎代表(手前)らビーフリーのメンバー＝9月8日、勢理客公民館

指導に当たる新垣養蜂園の新垣伝副代表は「ミツバチは相手を刺したら死んでしまう。巣箱を刺激しない限りは攻撃してこない。つかまえようとして、踏んづけようとしていたり、踏んづけようとしていないでなぞと話す。ミツバチが生活するためには蜜源となる花やきれいな水が必要。養蜂を通して美化や緑化、環境問題を考えたい。きっかけにもなるという。今後、メンバーは地域の美化にも関わっていく構えだ。

市の地域福祉協力員でもある宮城代表は「ハチの動きで受粉が起きて果実ができてくると、私たちがハチのようになら、地域がなごりになっていきたい」と抱負を語った。

【那覇】若狭公民館が主催するオンライン料理教室「NADIAで世界旅行」の第1弾ベトナム編が8月17日、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を使用して開かれた。参加者10人が、事前に撮影・編集を済ませた調理動画で作り方を確認。料理人らのアドバイスを聞きながら実際にベトナム料理を作品作った。

市若狭にあるベトナム料理店「ホイクワン」の料理人リユ・ウアン・タイさんが講師を務め、同公民館職員の佐藤純子さんが進行を担当し、「鶏肉のおえ物(ナムカセーファイ)」と「フォーの海鮮炒め(ラオーサオハイサン)」を調理した。

参加者は必要に済ませて準備をもう一度「してすか」

### 若狭公民館が講座 参加者楽しむ



使用する住宅設備設計会社な座で同協会の認定講師も取一下のインスタグラムで運営

9月13日の新聞に掲載されました！



# 入居式



# 採蜜



# 今後は...

- ・福祉教育の一環として、小学校などに巣箱を設置し、子ども達と地域の人に関われるようなきっかけ作りをしたい。

- ・若者がまちづくりに目をむけてくれるような新たなプロジェクトの展開をしていきたい！

(ぶんぶんプロジェクトだけではなく、新しいカタチの地域貢献プロジェクトの立ち上げ)

- ・BEE FREEが中心となった新しいカタチの公民館をつかっていきたい!!

(wi-fi完備、カフェのような空間を設けて勉強や読書などができるスペースをつくるなど、若い世代が集まってくるような公民館づくり、地域の人が集まるような場所に)

